

エコアクション21

環境経営レポート

令和6年2月～令和7年1月



令和7年 2月 1日

 **シンワ設備株式会社**

<http://www.shinwas.co.jp>

①組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名： シンワ設備株式会社 代表取締役 榛葉 秀聡
2. 所在地及び連絡先： (本 社) 静岡県浜松市中央区上西町5番地1 <053>464-3211
(営業所) 静岡県掛川市弥生町148番地 <0537>24-3322
3. 役割： (環境管理責任者) 営業部 八木和章
(連絡担当者及び連絡先) 八木和章 kazuaki_yagi@shinwas.co.jp
4. 事業活動内容： ・建築設備の設計及び施工
・オール電化製品(電気温水器, エコキュート, IH)の販売と保守サービス
5. 事業の規模 ・1971年 2月 6日 創業
・従業員数 (本社) 15人 , (営業所) 5人 (常勤役員1名除く)
・事業所の延べ面積 (本社) 753m², (営業所) 119m²

	(千円)	(件数)
・完成工事高	(令和2年 第50期)	855,450 588
	(令和3年 第51期)	754,566 600
	(令和4年 第52期)	455,058 468
	(令和5年 第53期)	746,742 519
	(令和6年 第54期)	579,368 506

事業年度は7月1日から翌年6月30日

6. 建設業許可番号 ・静岡県知事 管 工事 (特定) 04-6823号
有効期限(令和4年5月25日～令和9年5月24日)
土木, 機械器具設置 工事 (一般) 04-6823号
有効期限(令和4年5月25日～令和9年5月24日)

②対象範囲

組織：シンワ設備(株) 本社及び掛川営業所

活動：建築設備業及びオール電化機器の販売・保守

③環境経営方針

[環境理念]

シンワ設備株式会社は、建築設備工事に関わる営業活動を通じて快適な水と空気、そして環境に配慮したシステムをお客様に提供し、地域社会から信頼される企業を目指します。

[基本方針]

当社は、社員が自己の職務権限と責任を自覚して、環境経営活動に積極的に参加し、自己の働きがいある職場の環境づくりと共に、社員とその家族及び社会全体の明るい未来づくりのために、自然環境を大切に以下項目に取り組めます。

1. 環境負荷の低減

- 1) 省エネ推進によるCO2削減
- 2) 産業廃棄物の適正処理と削減
- 3) 用水使用量の削減

2. 環境保全活動

建築設備の専門家として、環境に配慮した設備システムを提案します。

3. 環境関連法規遵守

環境関連法規を遵守し、地域社会から信頼される企業を目指します。

4. 環境経営の継続的改善誓約します。

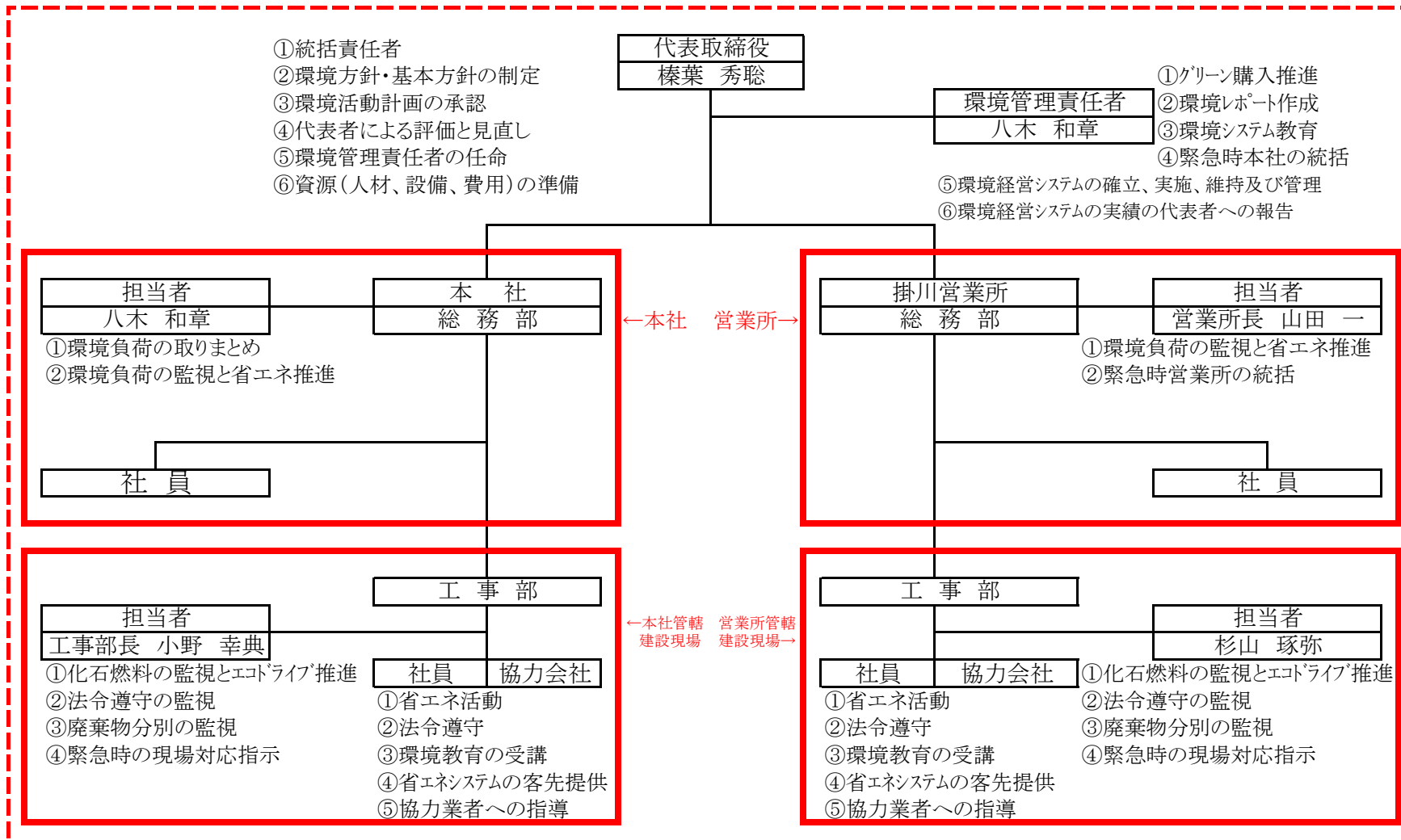
5. グリーン購入を推進します。

制定日	平成26年2月6日
改定日	令和3年4月30日

シンワ設備株式会社
代表取締役 榛葉 秀聡

・実施体制と役割

----- 対象範囲



全組織・全活動・全従業員を対象とする。

④環境経営目標

改定 令和4年2月6日

令和4年度より基準値を平成26年度→令和3年度に変更。維持を目標とする

全社

*CO2排出係数0.433（令和5年度参考）

項目	単位	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
CO2排出量	kg-CO2	67,355	0%	67,355	0%	67,355	0%	67,355	0%	67,355
購入電力	kw	37,835	0%	37,835	0%	37,835	0%	37,835	0%	37,835
ガソリン	L	18,085	0%	18,085	0%	18,085	0%	18,085	0%	18,085
軽油	L	3,467	0%	3,467	0%	3,467	0%	3,467	0%	3,467
水	m3	139	0%	139	0%	139	0%	139	0%	139
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.352	0%	0.352	0%	0.352	0%	0.352	0%	0.352
産業廃棄物の資源化率	%	80	3%	83	3%	83	3%	83	3%	83
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	10	-	10.0	-	10.0	-	10.0	-	10.0
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

本社

項目	単位	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
CO2排出量	kg-CO2	53,565	0%	53,565	0%	53,565	0%	53,565	0%	53,565
購入電力	kw	29,555	0%	29,555	0%	29,555	0%	29,555	0%	29,555
ガソリン	L	13,679	0%	13,679	0%	13,679	0%	13,679	0%	13,679
軽油	L	3,467	0%	3,467	0%	3,467	0%	3,467	0%	3,467
水	m3	77	0%	77	0%	77	0%	77	0%	77
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.316	0%	0.316	0%	0.316	0%	0.316	0%	0.316
産業廃棄物の資源化率	%	80	3%	83	3%	83	3%	83	3%	83
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	5	-	5.0	-	5.0	-	5.0	-	5.0
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

掛川営業所

項目	単位	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
CO2排出量	kg-CO2	13,790	0%	13,790	0%	13,790	0%	13,790	0%	13,790
購入電力	kw	8,280	0%	8,280	0%	8,280	0%	8,280	0%	8,280
ガソリン	L	4,406	0%	4,406	0%	4,406	0%	4,406	0%	4,406
水	m3	62	0%	62	0%	62	0%	62	0%	62
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.036	0%	0.036	0%	0.036	0%	0.036	0%	0.036
産業廃棄物の資源化率	%	80	3%	83	3%	83	3%	83	3%	83
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	5	-	5.0	-	5.0	-	5.0	-	5.0
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

⑤環境経営計画

項目	達成手段	スケジュール	対象範囲	実施担当
電力 CO ₂ 削減 による 削減	①エアコン設定温度の徹底(室内温度、冷房28℃暖房20℃) ②不在の部屋はエアコンを停止する。 ③人がいないエリアの照明は点灯しない。 ④電気温水器は冬季のみ電源を投入する。 ⑤不在時は、パソコンの電源を切る。 ⑥ゴーヤによる緑のカーテンを作り、冷房時の外気負荷を低減	7～9月, 12～3月 〃 通年 12～3月 通年 7～9月	本社 営業所	八木 山内
化石 燃料 削減 による CO ₂ 削減	①不要なアイドリングはしない。 ②急発進、急停止はしない。 ③計画を立てて、効率の良い運転経路を選択する。 ④可能ならば相乗りで移動する。 ⑤不要な荷物は降ろして、車両をなるべく軽くする。 ⑥エアコン設定温度は適正にし、強風では使用しない。 ⑦タイヤの空気圧は適正に保つ。 ⑧遠出の際は、公共交通機関を積極的に利用する。	通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年	本社 本社管轄現場 営業所管轄現場	八木 小野 杉山
水の 削減 量	①水を出しっぱなしで使用しない。 ②物を洗う際は、バケツ溜洗いをする。 ③植栽の散水は、雨水再利用タンクの水を使用する。 ④定期的に漏水点検をする。	通年 通年 通年 2ヶ月に1回	本社 営業所	八木 山内
廃棄物 (一般)削減 排出量	①書類のペーパーレス化を推進する。 ②不要となったコピー用紙は裏面印刷にて使用する。 ③両面印刷を多用して、コピー用紙を削減する。 ④ダンボール、新聞紙、雑誌等紙類はリサイクルする。	通年 通年 通年	本社 営業所	八木 山内
廃棄物 (産業)削減 排出量	①ダンボールはリサイクルする。 ②金属類の分別とリサイクルする。 ③マニフェストによる処分委託と管理をする。	通年 通年 通年	本社管轄現場 営業所管轄現場	小野 杉山
環境 配慮 の 設 備 提 案	①節水コマを常備し、積極的にお客様に提供する。 ②省エネシステムをお客様に積極的に提案する。 (深夜電気温水器・エコキュート・省エネエアコン) ④省エネに関するセミナーに積極的に参加する。	通年 通年 通年	本社 営業所	八木 山田

改定 令和3年2月3日

⑥環境経営目標の実績

令和4年度より基準値を平成26年度→令和3年度に変更。維持を目標とする

実施日	令和7年2月1日
実施者	八木 和章

全社

小数点四捨五入

*CO2排出係数0.433(令和5年度参考)

項目	単位	令和3年度	令和5年度		令和6年度					
		基準値	目標値	実績値	削減率	目標値	実績値	実績/目標	基準年度比	達成
CO2排出量	kg-CO2	67,355	67,355	67,508	0%	67,355	67,172	100%	100%	○
購入電力	kw	37,835	37,835	31,174	0%	37,835	32,499	116%	116%	○
ガソリン	L	18,085	18,085	18,385	0%	18,085	18,700	97%	97%	△
軽油	L	3,467	3,467	4,401	0%	3,467	3,766	92%	92%	△
水	m ³	139	139	141	0%	139	128	109%	109%	○
一般廃棄物(循環資源-紙)	kg	352	352	292	0%	352	328	107%	107%	○
産業廃棄物の資源化	%	80	80	75	3%	80	74	93%	93%	△
環境配慮の設備提案 エコキュート及び電気温水器販売台数	台	10	10	19	-	10	24	240%	240%	○
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

*取組結果の評価については、100%以上達成=○ 99~90%=△ 90%未満=× として評価する。

本社

*CO2排出係数0.433

項目	単位	令和3年度	令和5年度		令和6年度					
		基準値	目標値	実績値	削減率	目標値	実績値	実績/目標	基準年度比	達成
CO2排出量	kg-CO2	53,565	53,565	54,742	0%	53,565	53,571	100%	100%	○
購入電力	kw	29,555	29,555	24,304	0%	29,555	25,834	114%	114%	○
ガソリン	L	13,679	13,679	14,165	0%	13,679	14,082	97%	97%	△
軽油	L	3,467	3,467	4,401	0%	3,467	3,766	92%	92%	△
水	m ³	77	77	73	0%	77	66	117%	117%	○
一般廃棄物(循環資源-紙)	kg	316	316	256	0%	316	256	123%	123%	○
産業廃棄物の資源化	%	80	80	79	3%	80	80	100%	100%	○
環境配慮の設備提案 エコキュート及び電気温水器販売台数	台	5	5	8	-	5	5	100%	100%	○
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

*取組結果の評価については、100%以上達成=○ 99~90%=△ 90%未満=× として評価する。

営業所

*CO2排出係数0.433

項目	単位	令和3年度	令和5年度		令和6年度					
		基準値	目標値	実績値	削減率	目標値	実績値	実績/目標	基準年度比	達成
CO2排出量	kg-CO2	13,790	13,790	12,766	0%	13,790	13,600	101%	101%	○
購入電力	kw	8,280	8,280	6,870	0%	8,280	6,664	124%	124%	○
ガソリン	L	4,406	4,406	4,220	0%	4,406	4,618	95%	95%	△
水	m ³	62	62	68	0%	62	62	100%	100%	○
一般廃棄物(循環資源-紙)	kg	36	36	36	0%	36	54	67%	67%	×
産業廃棄物の資源化	%	80	80	63	3%	80	65	81%	81%	×
環境配慮の設備提案 エコキュート及び電気温水器販売台数	台	5	5	11	-	5	19	380%	380%	○
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

*取組結果の評価については、100%以上達成=○ 99~90%=△ 90%未満=× として評価する。

⑦環境経営活動の評価と今後の取組

対象範囲: 全体(本社、営業所、現場)

実施日	令和7年2月1日
実施者	八木 和章

項目	達成手段	評価	今後の取組
電力CO2削減による削減	①エアコン設定温度の徹底(室内温度、冷房28℃暖房20℃) ②不在の部屋はエアコンを停止する。 ③人がいないエリアの照明は点灯しない。 ④電気温水器は冬季のみ電源を投入する。 ⑤不在時は、パソコンの電源を切る。 ⑥ゴーヤによる緑のカーテンを作り、冷房時の外気負荷を低減	○ ○ ○ ○ ○ ○	温度計を活用した室内温度管理を図る。 継続して取組む。 昼休みの消灯を推進する。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。
化石燃料削減によるCO2削減	①不要なアイドリングはしない。 ②急発進、急停止はしない。 ③計画を立てて、効率の良い運転経路を選択する。 ④可能ならば相乗りで移動する。 ⑤不要な荷物は降ろして、車両をなるべく軽くする。 ⑥エアコン設定温度は適正にし、強風では使用しない。 ⑦タイヤの空気圧は適正に保つ。 ⑧遠出の際は、公共交通機関を積極的に利用する。	○ ○ ○ △ △ ○ ○ △	継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 定期点検時に確認する。 片道60km以上の時は、公共交通機関を利用する。
水の削減	①水を出しっぱなしで使用しない。 ②物を洗う際は、バケツ溜洗いをする。 ③植栽の散水は、雨水再利用タンクの水を使用する。 ④定期的に漏水点検をする。	○ ○ ○ ○	止水栓を調整して、瞬間吐出量を少なくする。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。
廃棄物(一般)排出量の削減	①書類のペーパーレス化を推進する。 ②不要となったコピー用紙は裏面印刷にて使用する。 ③両面印刷を多用して、コピー用紙を削減する。 ④ダンボール、新聞紙、雑誌等紙類はリサイクルする。	○ ○ ○ ○	pdf化、スキャナーの活用に努める。 裏面使用可能なコピー用紙の分別を徹底させる。 継続して取組む。 継続して取組む。
廃棄物(産業)排出量の削減	①ダンボールはリサイクルする。 ②金属類の分別とリサイクルする。 ③マニフェストによる処分委託と管理をする。	○ ○ ○	継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。
環境配慮の設備提案	①節水コマを常備し、積極的にお客様に提供する。 ②省エネシステムをお客様に積極的に提案する。 (深夜電気温水器・エコキュート・省エネエアコン) ③省エネに関するセミナーに積極的に参加する。	○ ○ △	継続して取組む。 エコキュート目標販売数を達成する 年1回は参加するように取組む。

⑧環境関連法規への違反、訴訟の有無

評価日 令和7年2月1日

評価者 八木 和章

当該環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘や近隣住民からの訴訟等は過去3年間ありません。

○×該当なし

環境関連法規の名称	規制内容	遵守状況	評価結果
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理を行う。 (汚泥、廃油、廃プラ、建設木くず、建設紙くず、建設繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、ゴムくず、コンクリート破片など)	事業所、各現場で委託	○
	委託先と契約書を交わし、5年間保存する。	本社にて保管	○
	マニフェストを交付し、5年間保存する。	電子マニフェスト登録	○
	毎年度、静岡県と浜松市に交付状況報告書を提出する。	電子マニフェスト登録	○
	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	都度設置	○
	マニフェストの期間内返却確認の結果、期間内に返却されなかった場合の県知事への報告	該当なし	該当なし
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選定	代表取締役社長	○
	産業廃棄物処理委託先の現地確認及び記録の保管(5年間)	本社にて保管	○
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業。(石綿を含有する配管、ダクトの保温材の除去)	都度確認	○
	レベル1の場合は、作業開始前14日前までに労働基準監督署に工事計画書を提出する。	該当なし	該当なし
	レベル2の場合は、建築物解体等作業届けを作業前に届出する。	該当なし	該当なし
建設副産物適正処理推進要綱	建設発生土、建設副産物の適正処理。	現場にて対応	○
	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録を1年間保管する。	本社にて保管	○
騒音規制法	特定施設設置届を工事着手30日前に県知事に提出する。 (空気圧縮機及び送風機で原動機の定格出力が7.5kw以上のもの)	該当なし	該当なし
振動規制法	特定施設設置届を工事着手30日前に県知事に提出する。 (圧縮機で原動機の定格出力が7.5kw以上のもの)	該当なし	該当なし
フロン排出抑制法	冷媒用フロンの回収・破壊の措置をする。	都度現場にて業者委託	○
	行程管理票を発行し、「委託確認書」「引取証明書」を3年間保存する。	本社にて保管	○
	毎年度、静岡県に「第一種フロン類回収業者のフロン類回収量等に関する報告書」を提出する。	令和7年2月1日	○
	第1種特定製品簡易点検	年4回	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出。	該当なし	該当なし
	家電リサイクル券にて処理する。	該当なし	該当なし
建設リサイクル法	特定資材の解体分別と再資源化。	各事業所にて都度対応	○
容器包装リサイクル法	容器包装の分別収集とリサイクル推進。	都度対応	○

⑨環境経営目標の実績の評価

実施日 令和6年2月1日

実施者 八木 和章

対象事業所	項 目	評 価
全社	購入電力	基準年度に対し16%削減。エアコンの温度管理、不在中の部屋の節電はできていた。
(本社・営業所)	化石燃料(ガソリン)	基準年度に対し3%増。基準年度と比較すると遠方の現場が増え全体的に給油量が上がった。ただし個々の燃費は抑えられている
	化石燃料(軽油)	基準年度に対し8%増。基準年度と比較すると遠方の現場が増え昨年対比では13%削減されている。
	水使用量	基準年度に対し9%削減。漏水等はなかった。
	一般廃棄物排出量	基準年度に対し8%増。公共工事の図面や書類作成でコピー紙の購入量が増えた。裏紙使用は継続してできている。
	産業廃棄物資源化率	基準年度に対し再資源率6%未達。産廃の分別はできていた。再資源化ができない石綿含有材が増えたのが起因。今後も増えていくので目標値の見直しを検討する。

全体評価と見直し結果

作成 令和7年2月1日

作成者 八木 和章				
1、 見直し 関連情報		項目	確認	コメント
	1	エコアクション21文章	■	記録・文書として作成
	2	環境目標及び目標達成状況	■	記録・文書として作成
	3	環境活動計画及び取り組み状況	■	継続して取り組む
	4	環境関連法規一覧及び遵守状況	■	記録を別途記載しました
	5	緊急事態の想定と対応策	■	記録を別途記載しました
	6	試行訓練実施要項及び反省	■	記録を別途記載しました
	7	その他	□	

2、 全体評価・ 見直し案		見直し項目	変更の 必要性		(有)の場合の支持事項
	1	エコアクション21文章	有	無	
	2	環境目標及び目標達成状況	有	無	
	3	環境活動計画及び取り組み状況	有	無	
	4	環境関連法規一覧及び遵守状況	有	無	
	5	緊急事態の想定と対応策	有	無	
	6	防災訓練実施要項及び反省	有	無	
	7	その他	有	無	

⑩代表者による総評

昨年と比較しても、環境負荷に大きな変動がなく着々とEA21の活動ができている。

しかし、水道、電気などの値上げやガソリン価格の高騰などにより、消費量にほぼ変動がないのに、費用が2, 3割増大していて経営上の不安がある。

ガソリンに関しては、より燃費のいい車を採用するなど費用対効果を考慮したい。

また、産業廃棄物に関しては、各現場で産業廃棄物と鉄くずなどのリサイクル品の仕分ができており、社員も十分理解できているので継続していきたい。

ZEB,ZEHなど環境に配慮した設計などの社員教育を進めていきたい。

令和 7年 2月 1日

代表取締役 榛葉 秀聡